

IN CONCERT

第三十九

「みじかな植物のしくみと
かんさつ」

5年2組

武田康秀

も く じ

1. 研究をはじめたわけ 1ページ
2. 研究方法 2ページ
3. ロセット型標本 3ページ～8ページ
4. 部分ロセット型標本 9ページ～17ページ
5. ほふく型標本 18ページ～23ページ
6. そう生型標本 24ページ～32ページ
7. 直立型標本 33ページ～43ページ
8. 分枝型標本 44ページ～49ページ
9. 名前のわからなかった物 50ページ～53ページ
10. 帰化植物について 54ページ
11. 環境による育ち方のちがい 55ページ
12. まとめ 56ページ
13. 反省 57ページ

1. 研究を始めたわけ

山とかに行くと、色々な植物を見かけます。

まえまでは、植物の事などきにしなかったけ

れども、米とか野菜の事を社会で勉強してい

るうちに米や野菜の他に花や草の事もっと

しりた、いと思ったのでこの研究をはじめま

した。

2、研究方法

ア、植物をとってくる。(とってきた場所をかく)

イ、名前を本で調べる。(何科だかをかく)

ウ、はのつき方の種類を調べる

エ、花のさく植物は花がさくきせつも書く

オ、おもにどこにはえるか

カ、1年草か多年草かも書き入れる

キ、おしべはなにしている

ク、おしべはなにしている

ロゼット型

生活期間を通じて根茎から出る葉（根生葉）をもち、地上けいとしては、根生葉の間から花をつけるくみだけを出すものをいう。

- セイヨウタンポポ
- カントウタンポポ
- ツロバナタンポポ
- コオニタビラコ
- オオバコ
- ヘラオオバコ
- エゾオオバコ
- ムラサキカタバミ
- スミシ
- ヒガンバナ
- ウリカワ
- サツオモダカ

など

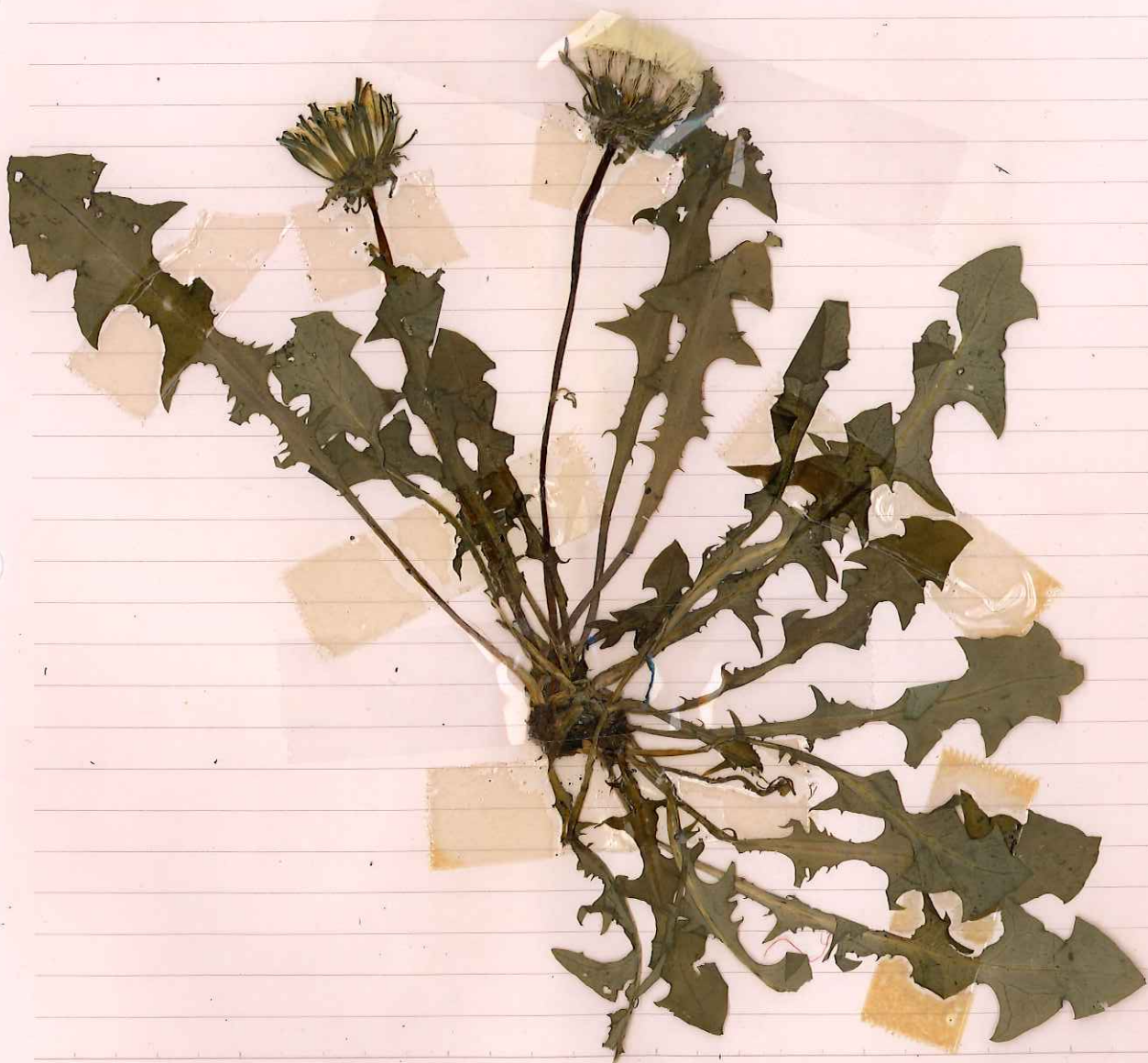
オオバコ
 (オオバコ科)
 場所
 うちの庭

はつち
 方の種
 田舎
 ア、庭
 イ、オオバコ
 (オオバコ科)
 ウ、口ゼット型
 エ、夏～秋
 オ、野山や道ばた



ア、近 所
イ、セイヨウタンポポ (キク科)
エ、ロゼット型
オ、春
カ、多年生草本

帰化



ア、近所

イ、ジツバリ (キク科)

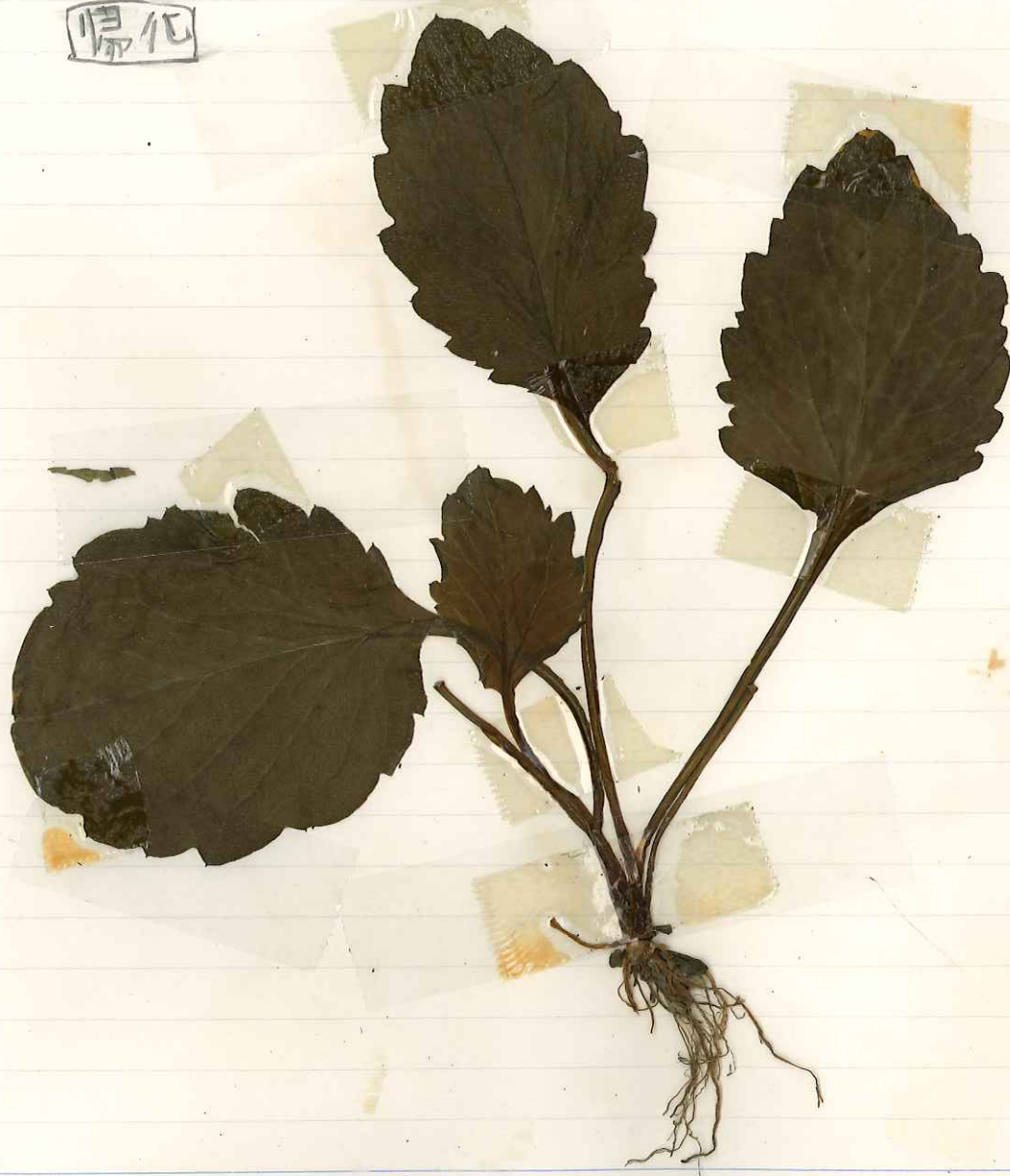
ウ、ロゼット型

エ、春

オ、道ばた、あぜ、畑、野原

カ、多年生草本

帰化



ア、庭
 イ、たちほスミシ
 (スミシ科)
 ウロゼット型
 エ、春
 オ、野山や道ばた
 ロゼット型
 (場所から)
 (花のさくせつ)
 おもにばえ、
 野山や道ばた



ア、庭

イ、エゾオオバコ

(オオバコ科)

ウ、ロゼット型

エ、夏

オ、野山や道ばた、海岸に多い

ナ、野山や道ば

た、



部分ロゼット型

生活期間の前半を根生葉のみで過ごし
のち根生葉はかれて直立型にうつるものを
いう。

部
分

タネツケバナ
イヌガラシ
オオマツヨイグサ
ノゲシ

ヒメスイバ
バナイバナ
ヘラオモダカ
イヌガラシ

セイタカアワダチソウ
マメゲンバイナズナ

ヒナカサヨモギ
など

ア、家の周辺
 イ、イヌカラシ (アブラナ科)
 ウ、部分ロケット型
 エ、春～初夏
 オ、野原や道ばた
 カ、多年生草本



ア庭

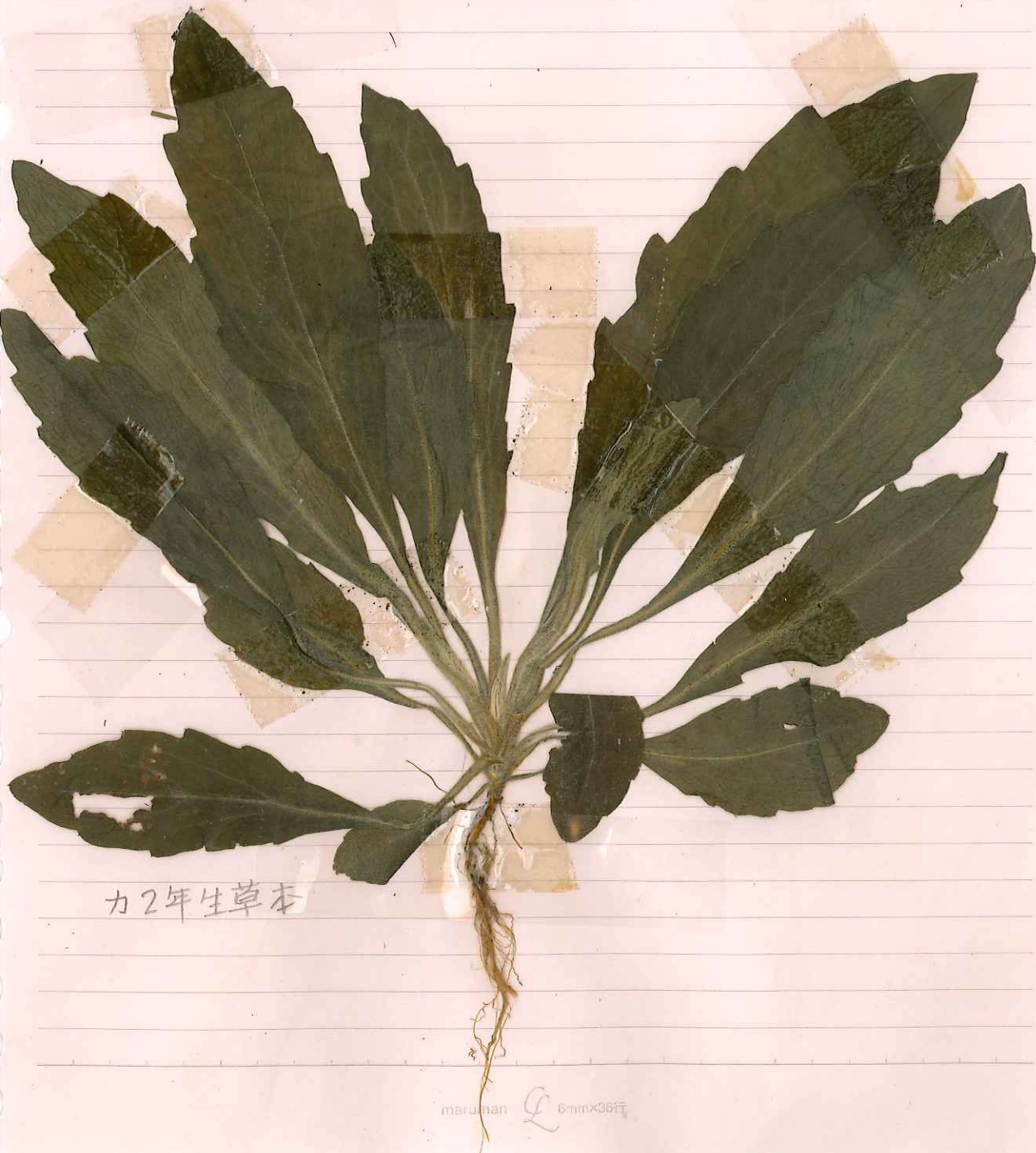
イビノムカシヨモギ(キク科)

1年目

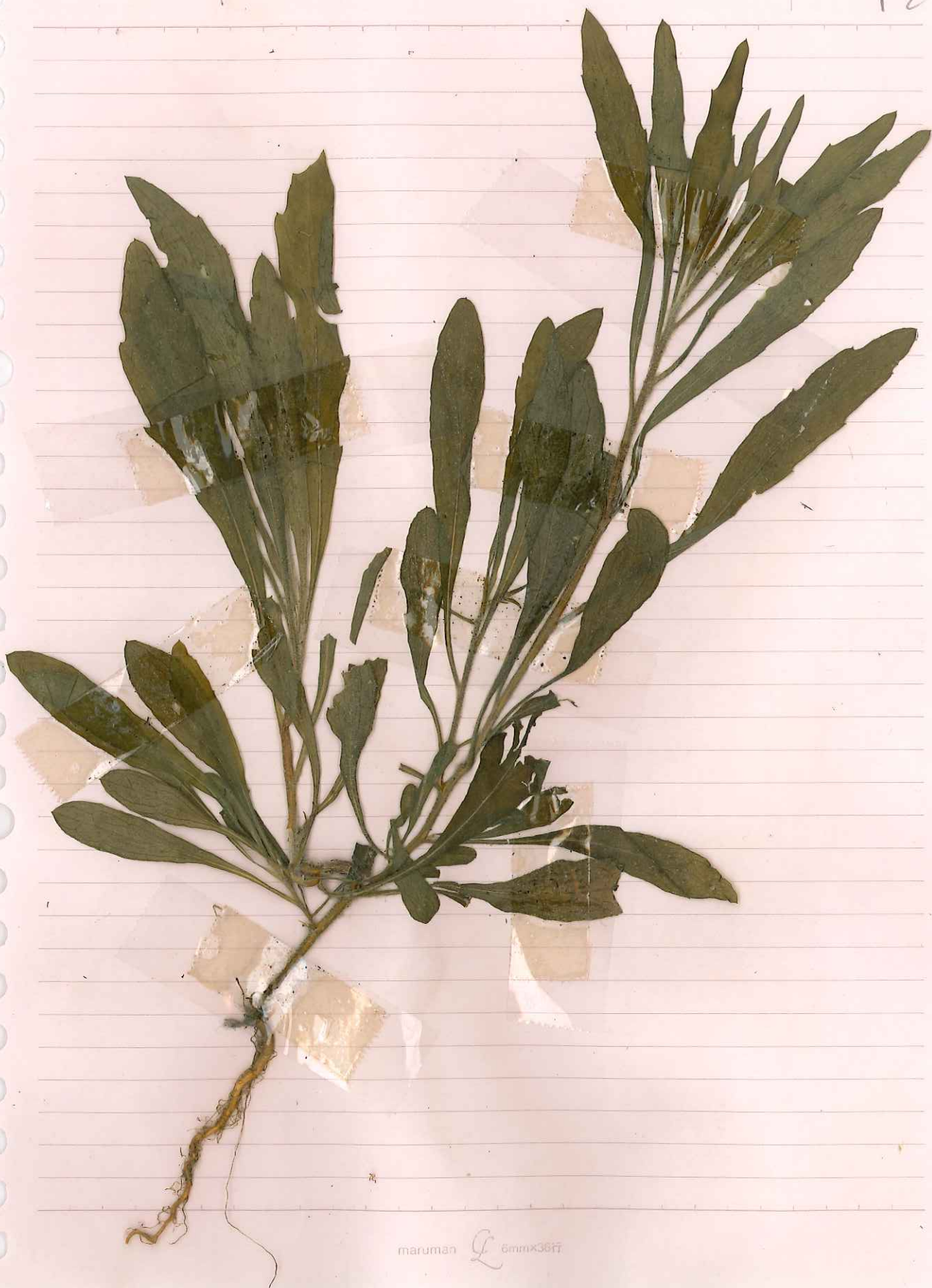
ウ部分ロゼット型

エ夏〜秋

オあれ地や道ばた

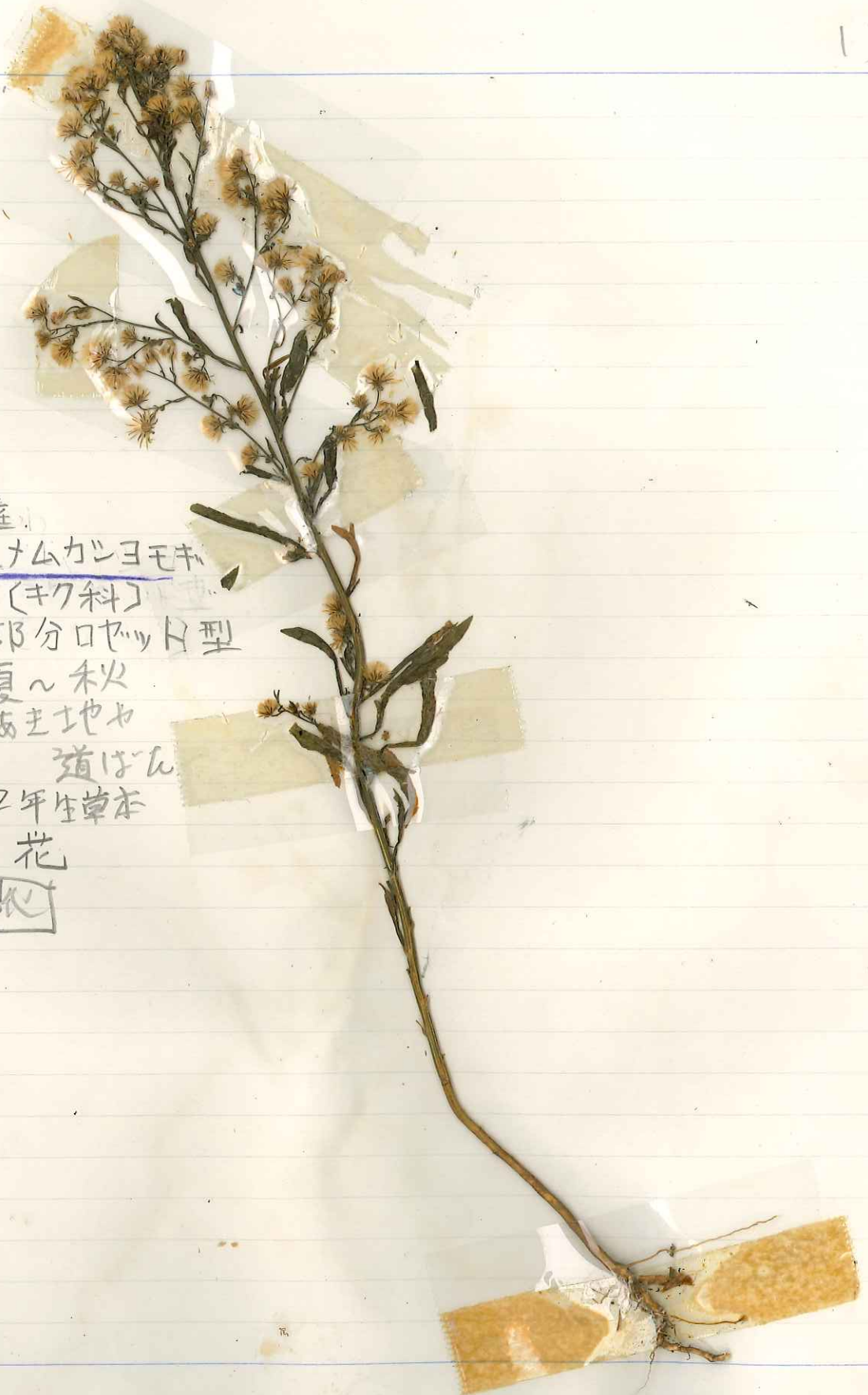


カ2年生草本



ア、庭
 イ、ヒナムカンヨモキ
 ウ、〔キク科〕
 ウ、部分ロゼット型
 エ、夏～秋
 オ、あま地や
 道ばた
 カ、2年生草本
 花

帰心



ア、家の周辺

イ、タネツケバナ【アブラナ科】

ウ、部分ロゼット型

エ、春～初夏

オ、田やあぜ

水辺のいり地



ア、近所

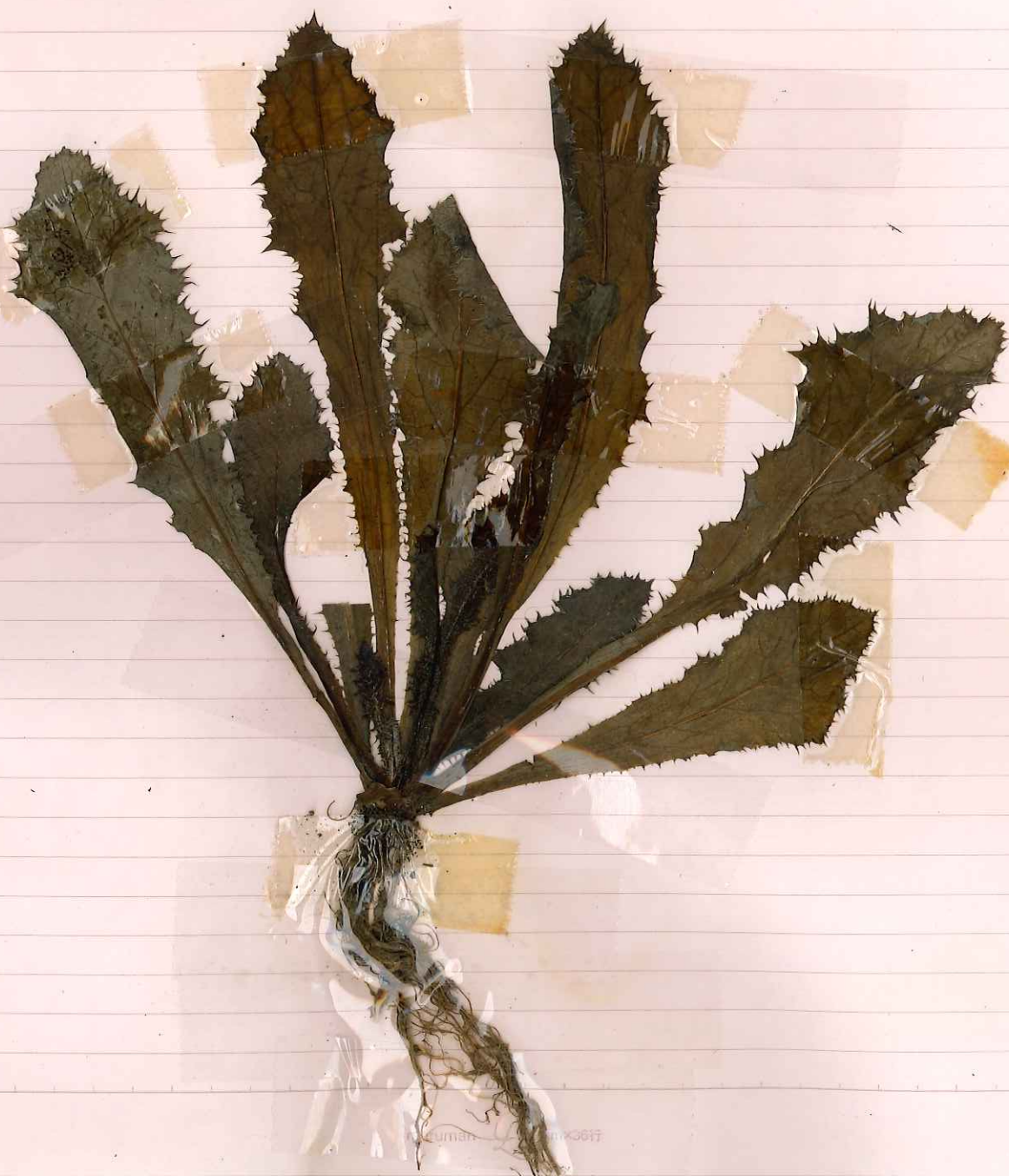
イ、ノゲシ (キク科)

ロ、部分ロゼット型

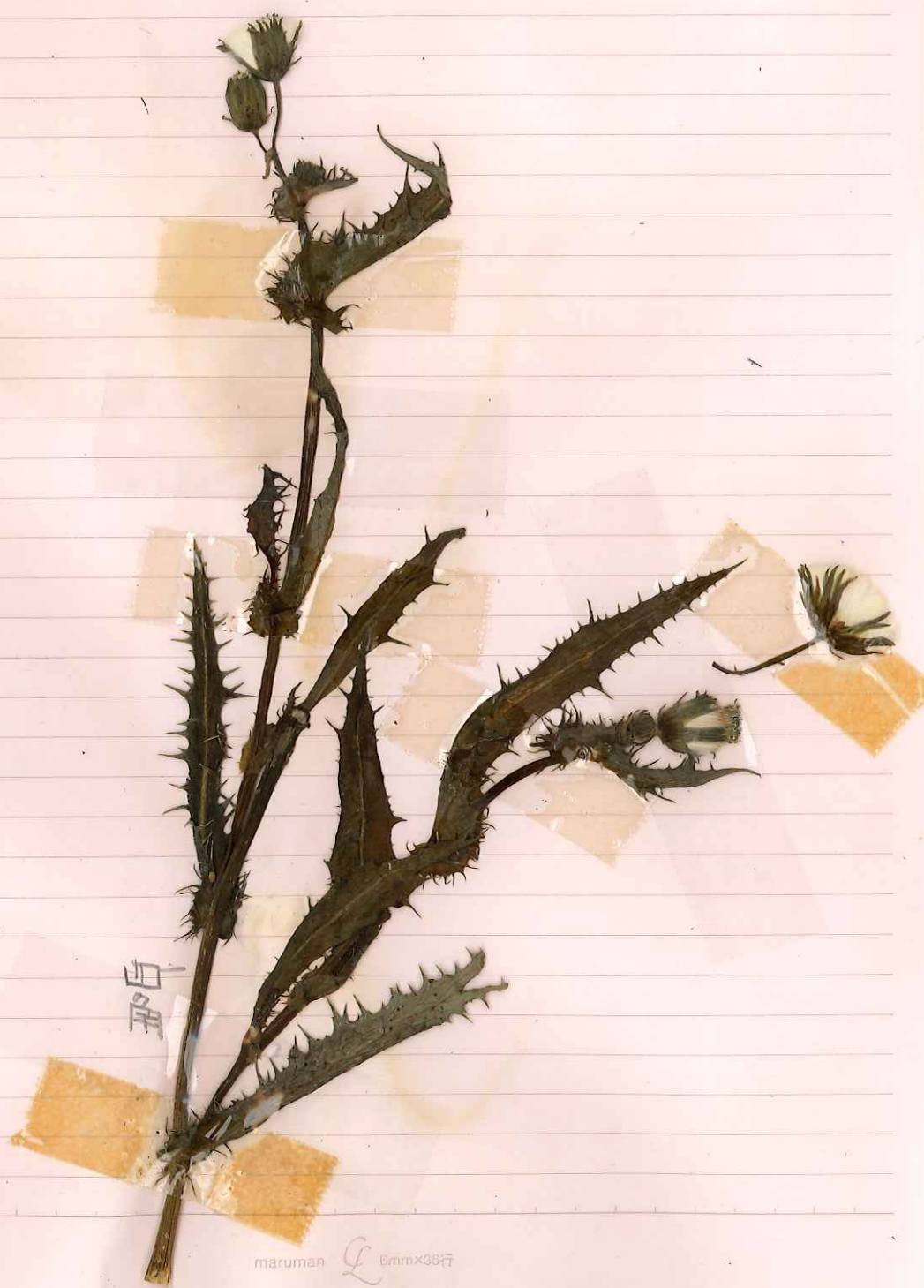
エ、春～秋

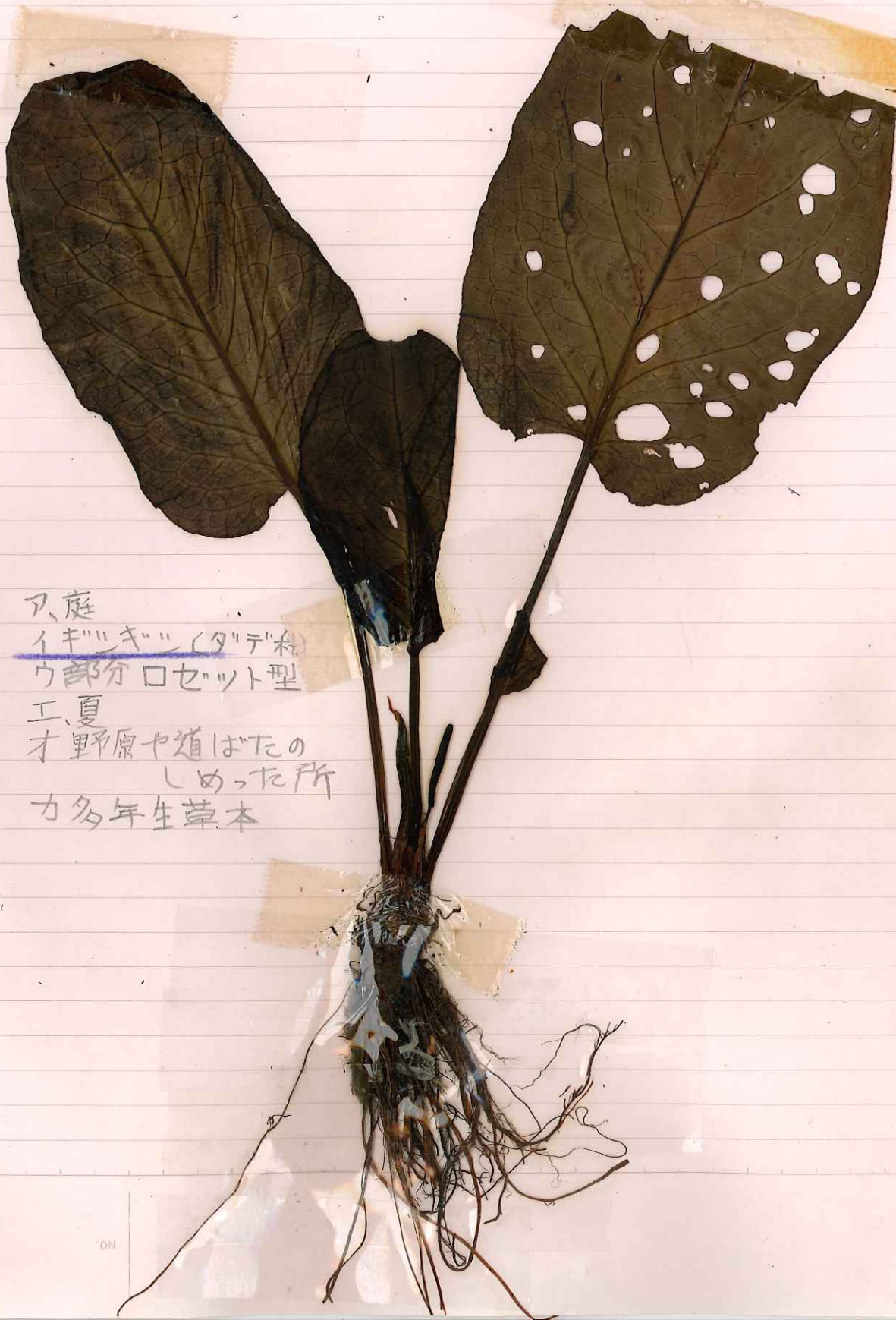
オ、あれ地に群生

カ、2年生草本



1丁三の花





ア、庭
 イキツギツクタデ科
 ウ部分ロゼット型
 エ、夏
 オ野原や道ばたの
 しめった所
 カ多年生草本

ほふく型

くきか地表面をはってところどころから
根を地中におろすもの。くきか切れても生
活できるようなものをいう。

- イワニガサ
- コナスビ
- ツロツメクサ
- ツバ
- ヘビイチゴ
- カタバミ
- ヒメナドメ
- ムラサキサギゴケ

ア庭

イ、コナスビ

(サクラソウ科)

ウほふく型

エ 夏

オ 山里予や道ばた

カ 多年生草本



ア、家の周辺
イムラサキサギゴケ
(ゴマのはぐさ科)

ウ、ほふく型

エ、春～夏

オ、道ばた、田畑



ア.近所
イチドメタタ(セリ科)
ウ.ほふく型
エ.夏~秋
オ.道ばた.庭



ア、道ばた

イ ギョウギツバ (イネ科)

ウ、ほろこ型

オ 日当たりのいい道ばた、ほろこいよう

カ 多年生草本





ア、庭
イカタバミ
 (カタバミ科)
 ウ、ほふく型
 エ、春～秋
 オ、庭や道ばた

青～赤
 土にはる戸
 庭や道ばた

そ う 生 型

株をつくり、くきが君羊から出て出るもので、花かさかない時期には、地上部に葉を君羊からせている。イネ科、カヤツリグサ科に多い。

- エノコログサ
- メヒシバ
- オヒシバ
- アキメヒシバ
- スズメノヒエ
- イチゴツナギ
- ナカハクサ
- スズメノテッポウ
- ホソムキ
- ネズミムキ
- カヤツリグサ
- スズメノカタビラ
- イヌビエ

ア、家の周辺

イ、カヤツリグサ

〔カヤツリグサ科〕

ウ、そう生型

エ、夏～秋

オ、畑、あれ地、草地

カ、



ア、家の周辺

イ、スズナノカタヒラ

〔イネ科〕

ウ、そう生型

エ、夏～秋

オ、あれ地や

道ばた

カ、一年生草本



ア庭

イイヌヒエ

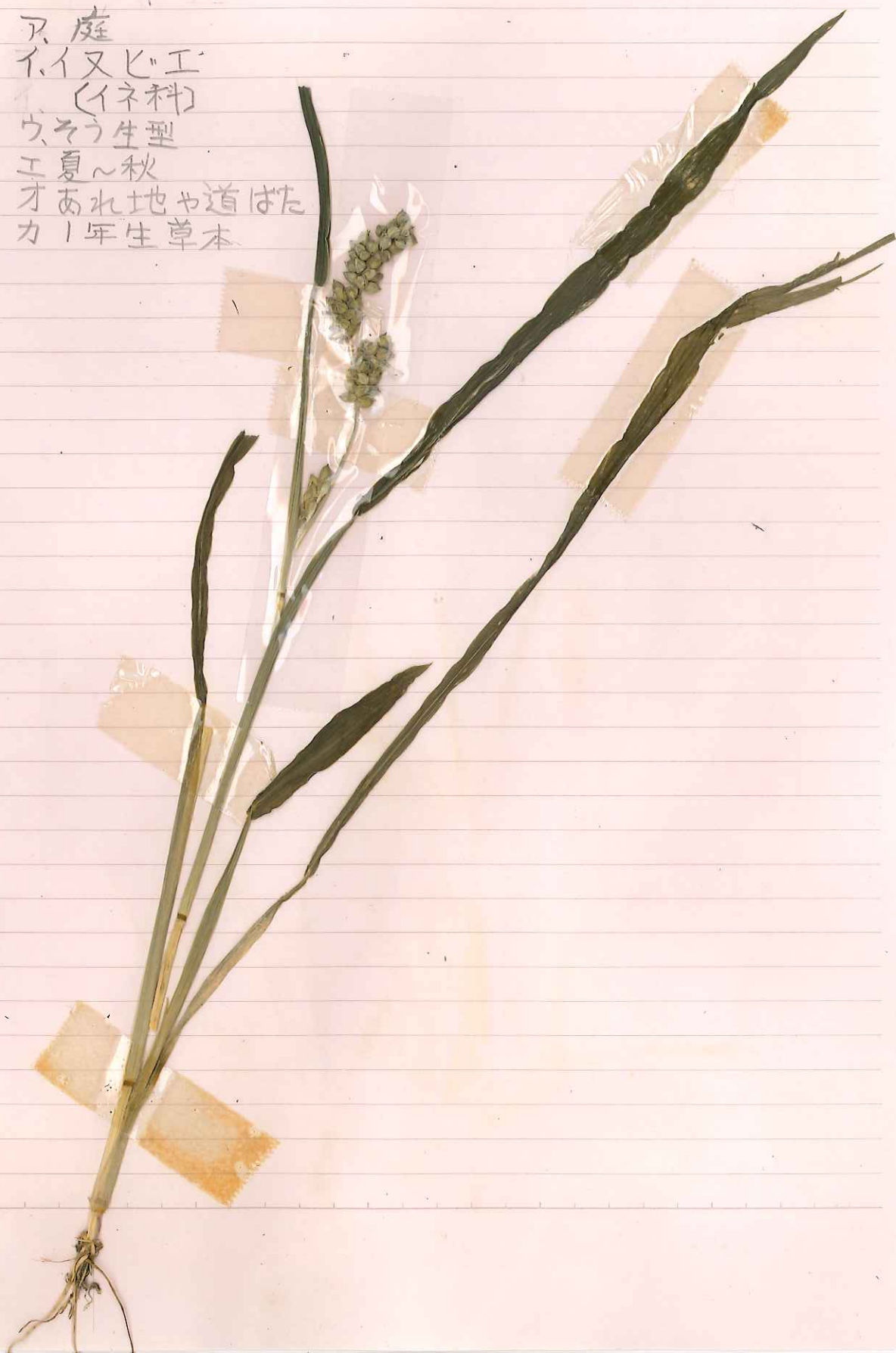
(イネ科)

ウ、ソウ生型

エ夏～秋

オあれ地や道ばた

カ1年生草本



ア、庭
イ、ムラサキエ/コロ
【イネ科】
ウ、そう生型
エ、夏～秋
オ、川原、畑、野原
カ、1年生草本



近所

イネスミギ [イネ科]

ウ、そう生型

エ初夏

オ日当たりのいい

野原

カ、一二年生草本



ア、近所

イ、アキメヒツバ (イネ科)

ロ (イネ科)

ウ、そう生型

エ、夏～秋

オ、道ばた、野原



31

ア、近所

イ、メヒツバ

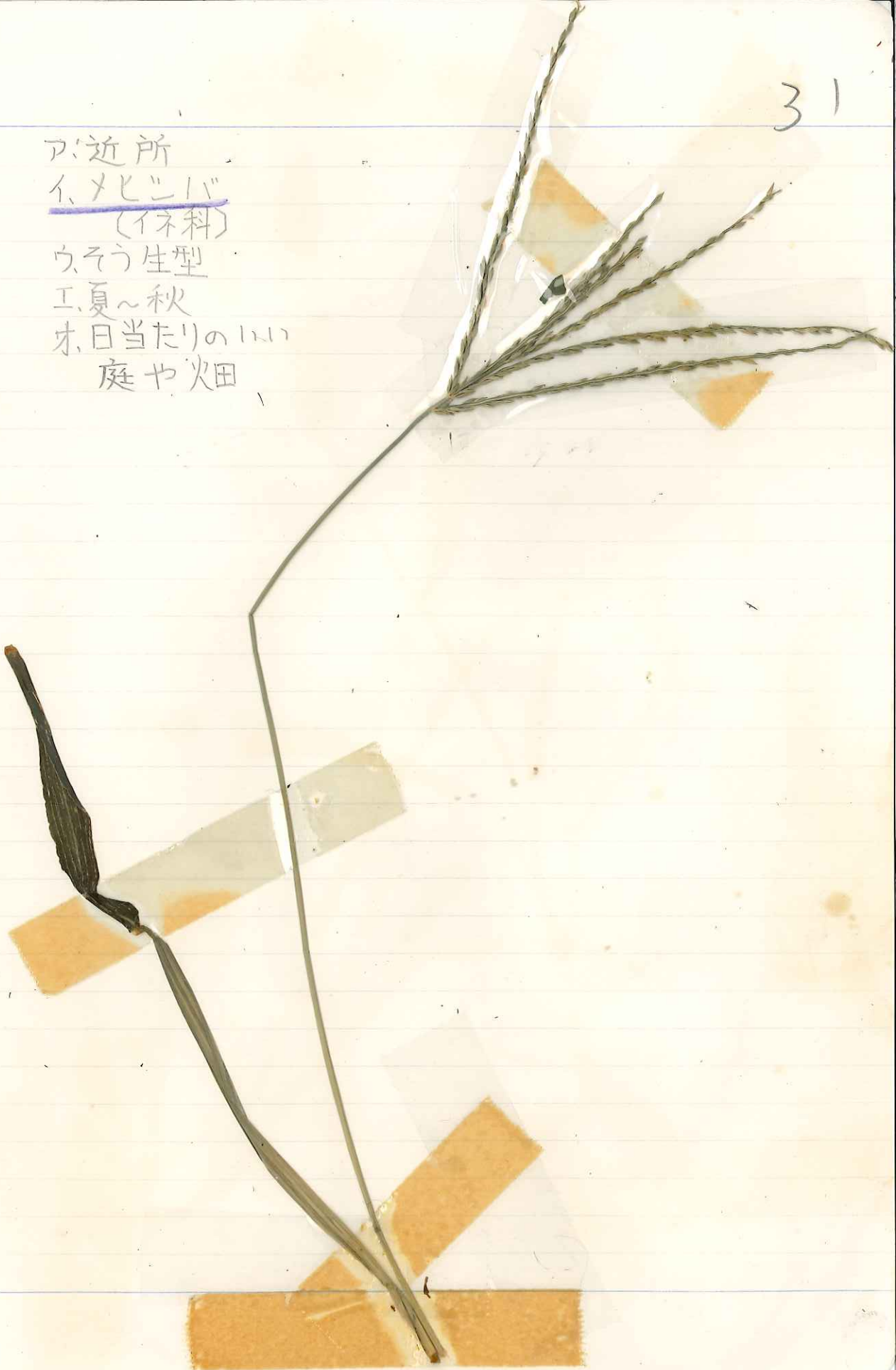
(イネ科)

ウ、そう生型

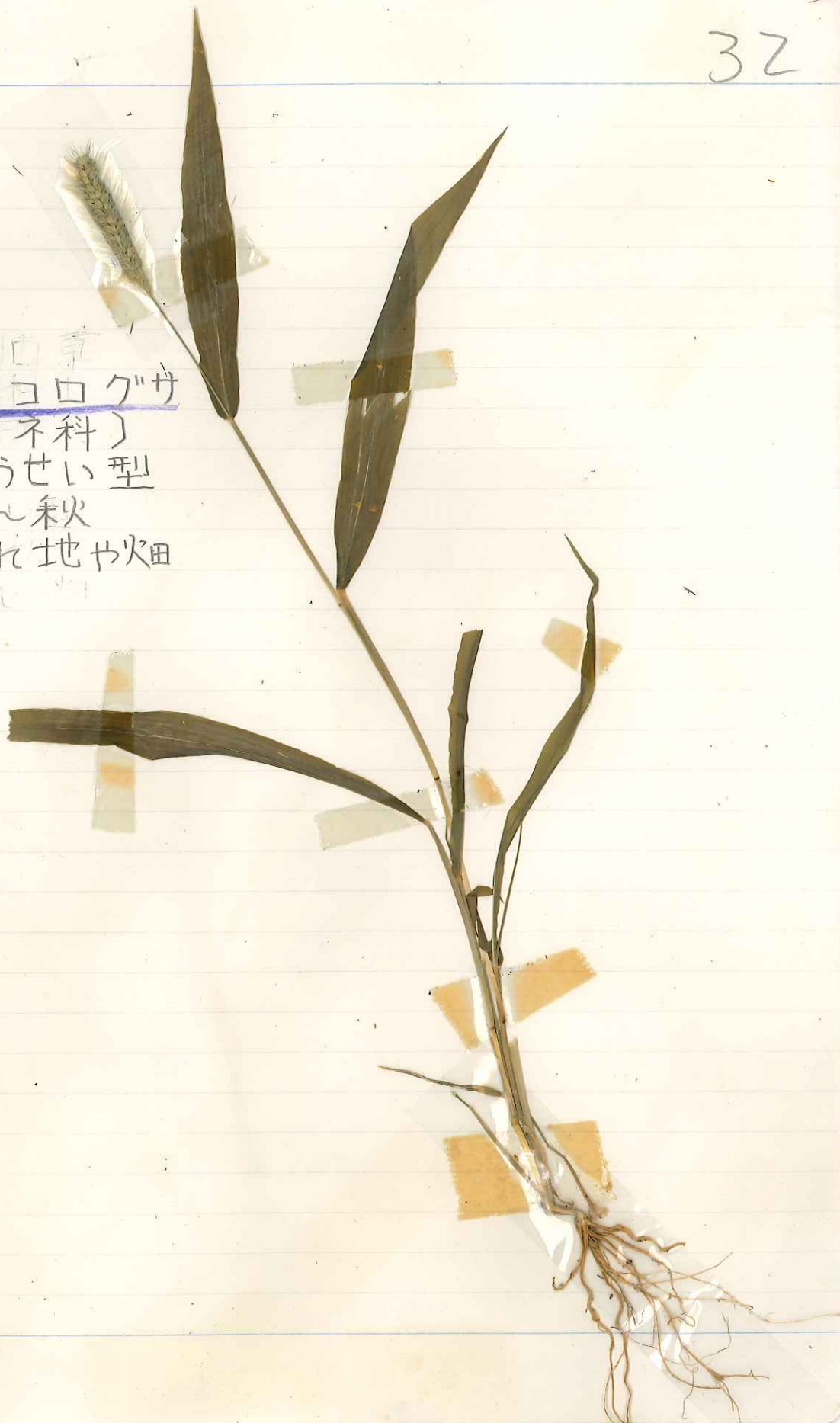
エ、夏～秋

オ、日当たりのいい

庭や畑



ア、庭口草
 イ、エノコログサ
 土（イネ科）
 ウ、そうせい型
 エ、夏〜秋
 オ、あれ地や畑



直立型

地上部に1本のはっきりしたくきがあって、
 直立するもので、ときにはななめに生育するものもある。生育期は春から秋にかけてで、冬は種子や地下けいなどで過ごす。

- クワクサ
- メナモミ
- キツネノマゴ
- ナミキソウ
- ヨメナ
- ノコンギク
- ヨモギ
- アカサ
- エノキグサ

など

ア、庭

イ、クワクサ

〔クワ科〕

ウ、直立型

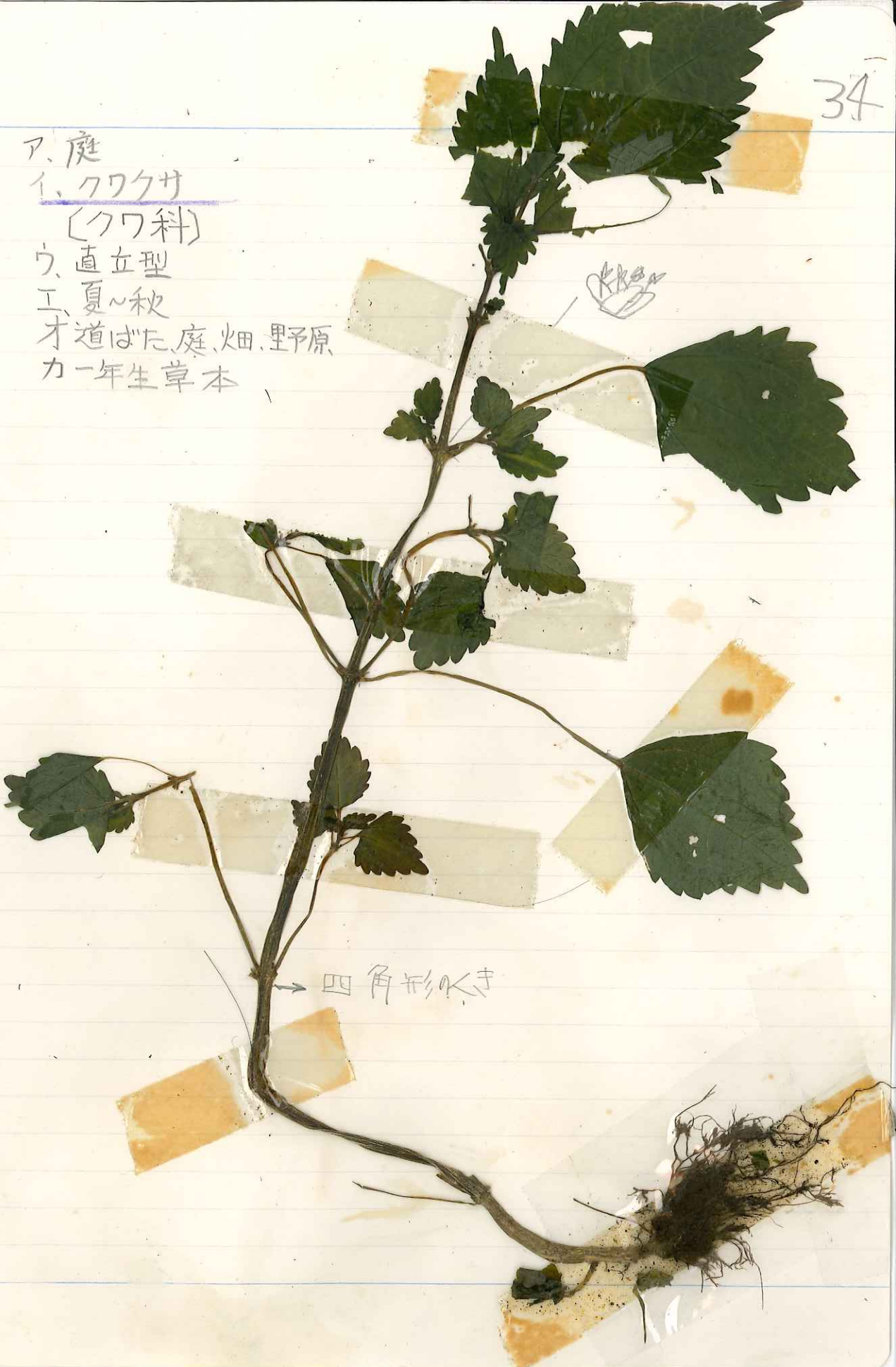
エ、夏～秋

オ、道ばた、庭、畑、野原

カ、一年生草本

Kkga

→ 四角形くさ



ア近所
 イカラムシ (イラクサ科)
 ウ直立型
 エ夏〜秋
 オ野原 山にはえる
 カ多年生草本



ア、近所

イ、ハハコグサ (キク科)

ウ、直立型

エ、春～夏

オ、畑や道ばた

カ、2年生草本



ア・庭
イミズヒキ(タデ科)

ウ直立型

エ夏～秋

オ林のふち

カ一年生草本

ア、近所
 イノカンリウ(コリ科)
 ウ、直立型
 エ、夏〜秋
 オ、野原 みぞにはえる
 カ、多年本



ア、近所
イミナナキ (タデ科)
 (タデ科)

ウ、直立型
 エ、春～秋
 オ、道ばた
 1年生草本



ア庭

イスギナ(トクサ科)

ウ、直立型

オ野原や道ばた

カ多年生草本



子



ア、近所
 イ、カラスビシャク
 (サトイモ科)
 ウ、直立型
 エ、なつ
 オ、畑
 カ、多年生草本



ア、庭

イ、ドクダミ (ドクダミ科)

ウ、直立型

エ、春～夏

オ、庭や山野



ア 家の周辺
イ、イタテ
ウ、直立型
エ、夏～秋
オ 田畑や道ばた
カ 一年生草本

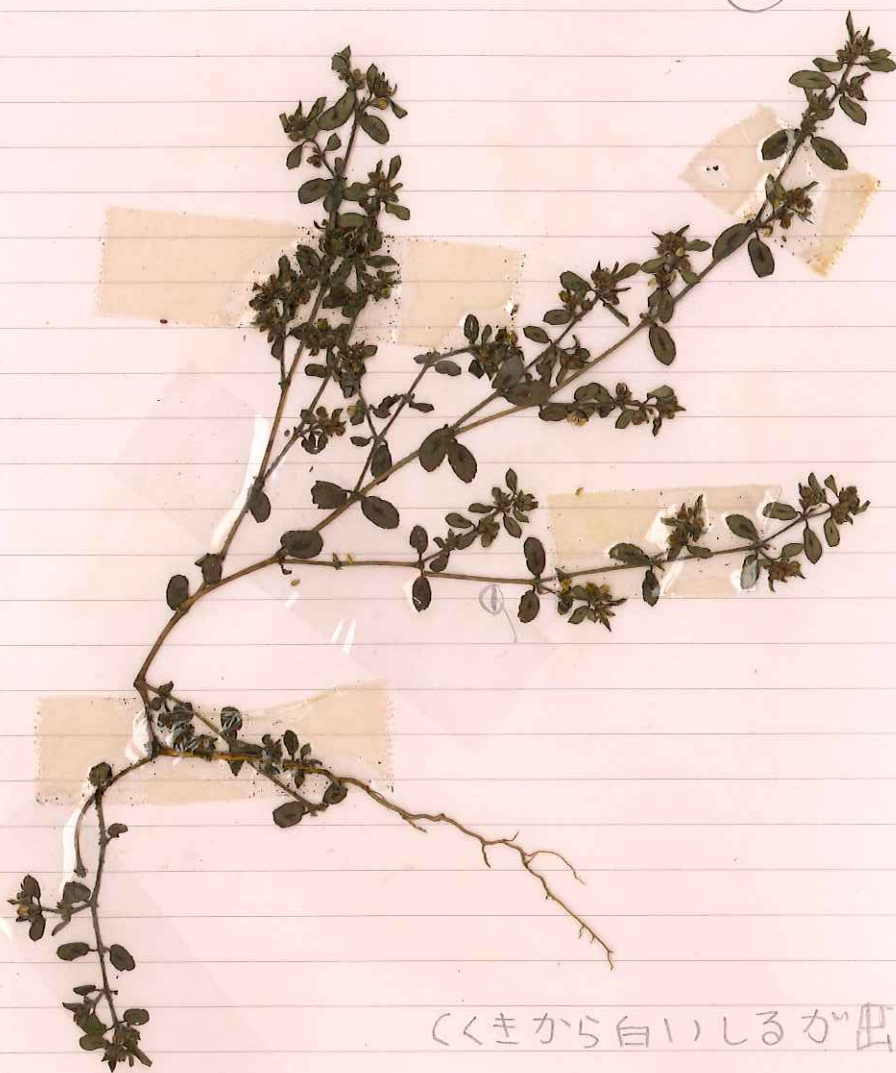


分 枝 型

くきか地上面の近くで枝わかれして、どれがものくきかよくわからないもの。
植物体が立つ場合と地上面にふせる場合があるもの。

- ツメクサ
- ウマゴヤシ
- ゲンゲ
- ミヤゴクサ
- ホトケノザ
- トキンソウ
- コハコベ
- ツユクサ
- アブハベ
- ミズアオイ
- イボクサ

ア 庭
 イ コニッキソウ (トウダイクサ科)
 ウ 分枝型
 エ 夏～秋
 オ 道ばた、空き地、にわ
 カ 一年生草本



(くきから白いしるが出た)

ア. 道ばた

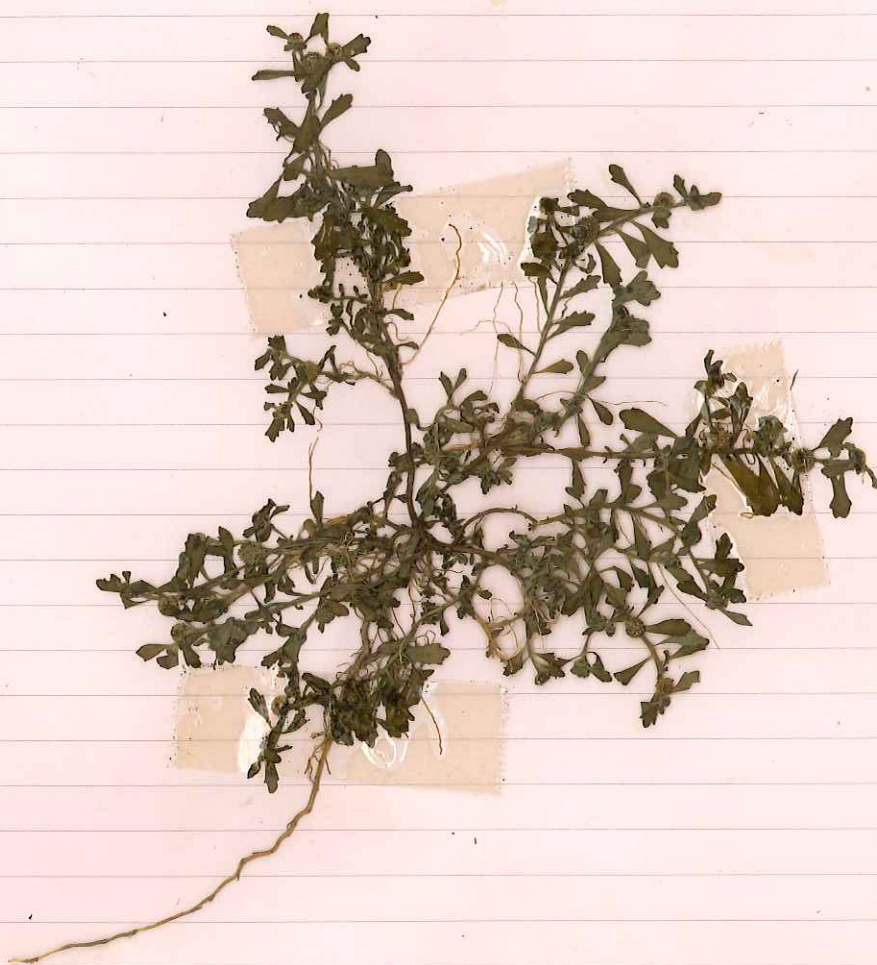
イ. トキンソウ (キク科)

ウ. 分枝型

エ. 夏

オ. 道ばた、庭しめったところ

カ. 1年生草本



ア 近所
イ ツユクサ (ツユクサ科)
ウ 分枝型
エ、夏
オ 道ばたや田
カ、1年生草本



つる型

くきが他の植物や物にまきついたり、
よりかかったりしてのびるもの。

(アサガオ、アカネ)

ヤブマメ
カラスノエンドウ
イミカタ
ナツロイシゴ
ヒレガオ

など

ア、道ばた
イ、ヒルガオ
(ヒルガオ科)
うつる型

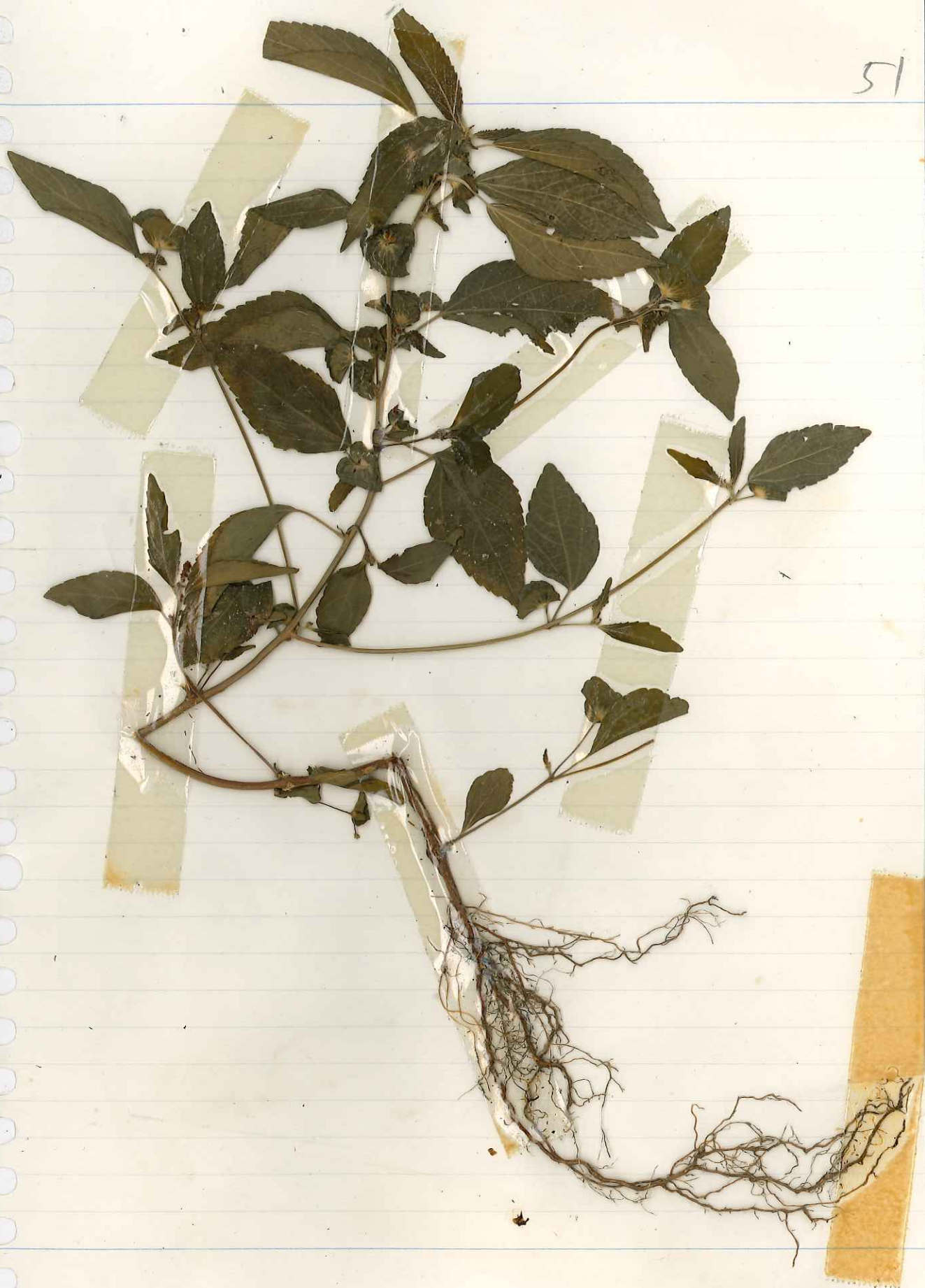
Ⅰ、夏
オ、野原や道ばた
カ、多年生草本



50

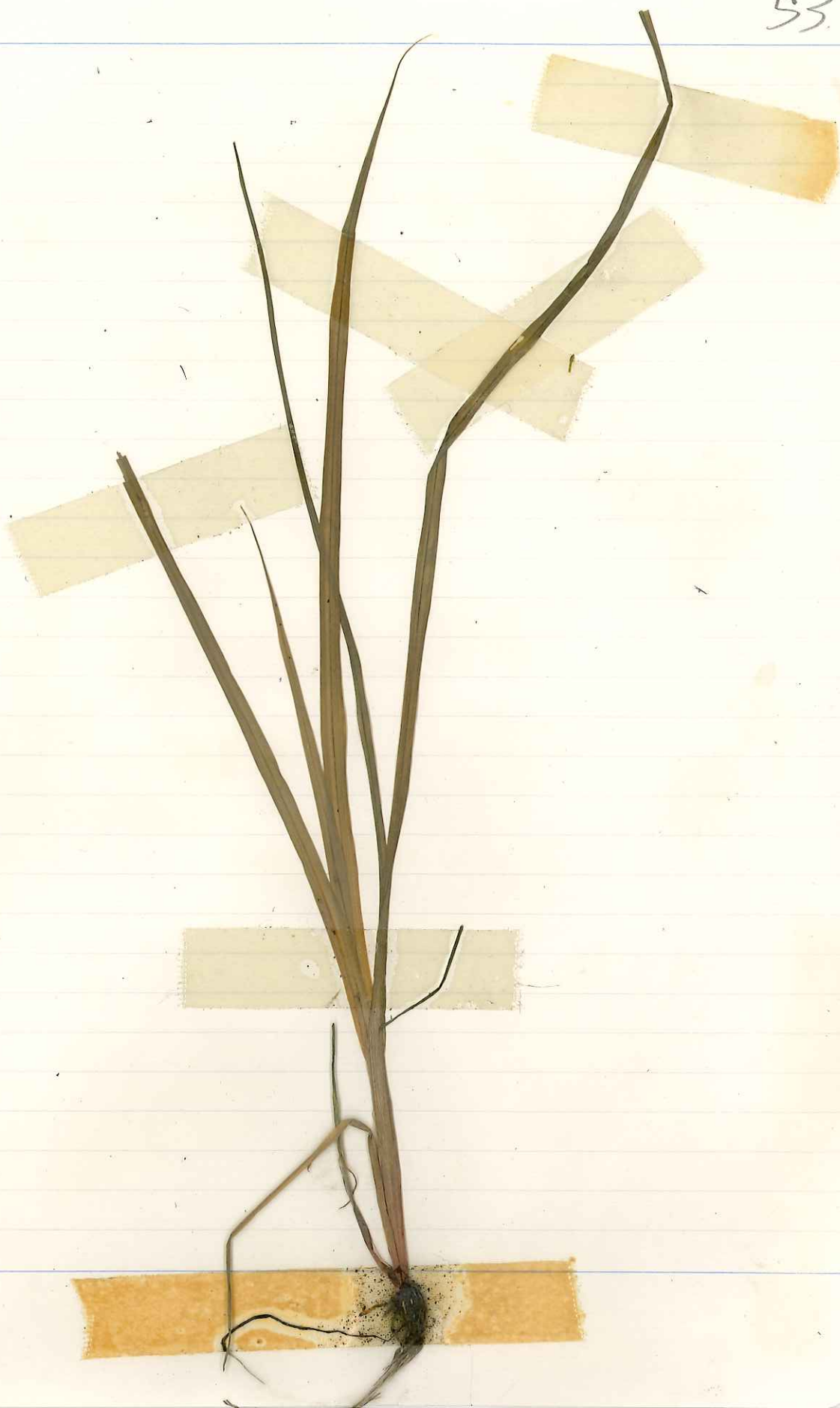


51



コト





帰化植物

もともと外国産の植物であるが、たまたま何か
といっしょに日本に入り、わが国の風土に
なじみやせいじょうたいではんしょくして
いるもの。

ヒカンバナ

スイセン

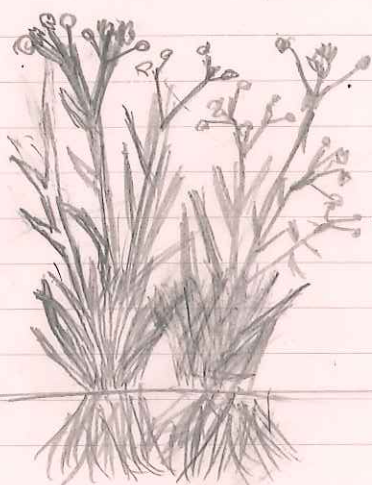
ムラサキカタバミ

レンゲ

センナリホオズギ

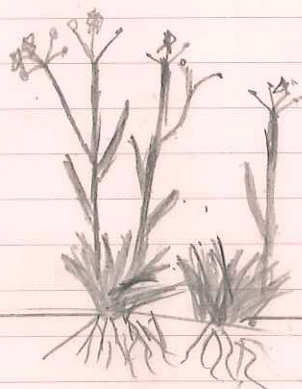
タンポポ

アメリカ センダングサ (北アメリカ)



- 。 せが 高い
- 。 多く わかれています
- 。 の び の び
している

ふ ま れ て い な い と こ ろ



- 。 せが 小さい
- 。 あまり わか
ない
- 。 いじ けて いる

ふ ま れ る と こ ろ

まとめ

◦ 時期により大きさや型も ちがうので 名前をさかし
にくかった。

◦ にている植物が多 かった。

◦ 道ばた、庭、近戸所などだけですごいた
くさんあった。

◦ 帰化植物が多いということがわか
った。(キク科に多いヒメカンヨモギ
アレチギク など)

◦ いろいろな野草があるとゆうことがわ
かった

◦ 少しの土があるところでも雑草は、
はえてくるとゆうことがわかった。

◦ このほかにも大まっよいぐさ、アメリカせん
たん草なども見られた。

◦ 谷だんおりにまわっている 名前とほんとう
の名前が ちがっ した。

(スベリヒユ→ヒユ)

(トロボウシ→アメリカン)センクングサ

◦ 急げきに水分をとるしくまれのなおい
はながでまゐる。

反省

- 休み中に多くやらなかったのであとからた^{した}いへんだった。
- 全部わからなかったのてとくちょうをつか^{かみ}みたかった。
- 時期にあわせてとり花などたくさんとるとよかった。
- おしはなが失敗したので形かわからなくなったりもしたのできちんとした形でやるとよかった
- すばやく見つけられるとよかった。